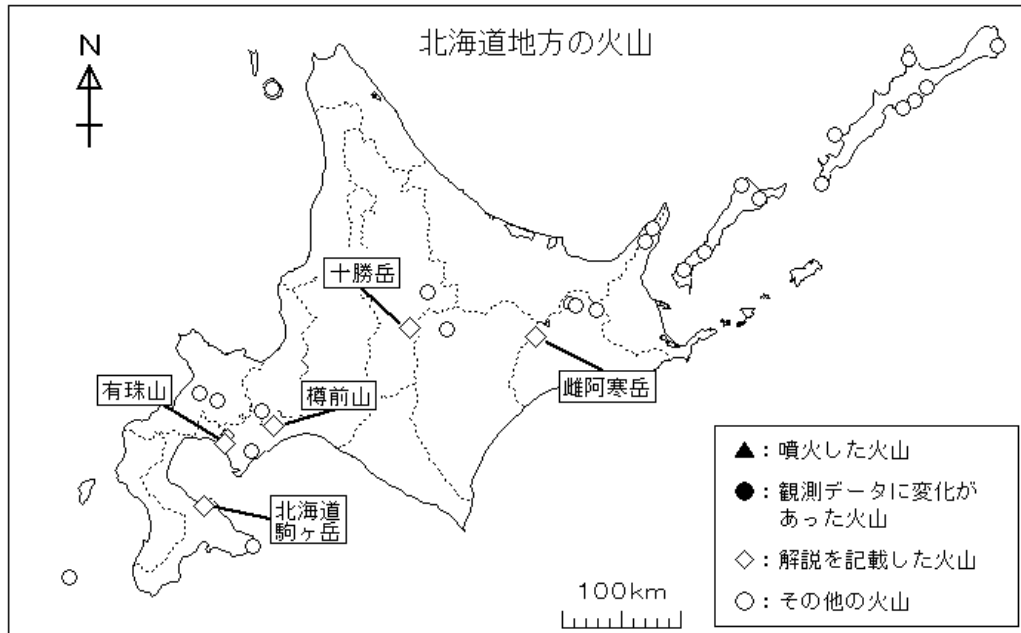


北海道地方の火山活動解説資料(平成 15 年 10 月)

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳

火山活動は引き続きやや活発な状態が続いています。

地震活動はやや活発な状態が続いており、一時的な地震の増減を繰り返しています。ポンマチネシリ 96-1 火口では火口温度が 400 以上と高温の状態が続いています。

十勝岳

火山活動は引き続きやや活発な状態が続いています。

地震活動には変化はなく静穏に経過しました。62-2 火口の噴煙活動は依然活発で火口温度も高温の状態が続いていると考えられます。火山活動による地殻変動は観測されませんでした。

樽前山

A 火口及びドーム南西噴気孔群 (B 噴気孔群) では極めて温度の高い状態が続くし、活発な熱活動が続いています。

地震活動は落ち着いた状態で推移しましたが、B 噴気孔群を始め全般的に噴煙活動がやや活発化しました。A 火口及び B 噴気孔群では火口温度が前回 (2003 年 5 月) から約 100 上昇したほか、B 噴気孔群では夜間に高感度カメラで明るく見える現象が時々観測されました。また、山頂浅部ではドームを中心とする微小な膨張傾向及び熱消磁が認められました。

有珠山

火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

火山活動は静穏な状態が続きました。

地殻変動観測では長期的に見るとわずかな山体膨張が引き続き認められます。

次の火山活動解説資料(平成 15 年 11 月分)は 12 月 8 日に公表します。
 (札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)
 (気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)